

2001年度の総会を開催 4月22日(日)に北条市立ふるさと館で

二神系譜研究会の総会を4月22日(日)10時より、

愛媛県北条市の「北条市立ふるさと館」で開催します。

2001年度の二神系譜研究会の総会を4月22日(日)10時から愛媛県北条市の「北条市立ふるさと館」で開催します。今年の総会は、昨年春、それまでの準備会から正式な「二神系譜研究会」へと組織的發展を行い、一年間様々な活動を進めて参りましたが、これらの活動を振り返りながらその到達点の成果上に立って今年度の「調査・研究活動」の方向を決めることにあります。

特に調査研究の成果を会員や関係者に報告するための方法として、会報や速報の発行は各方面から好評を頂いており、また、それぞれの節目節目に開催してきた学習会や交流会は今後とも継続して開催をすることになっています。

今年は、関ヶ原の合戦で西軍に付いたため、豊後森へ転封となった来島康親に随行した「片山二神氏」の分流が、当地で移住400年を迎えるのを記念して、大分県玖珠郡玖珠町森で、9月8～

9日の両日「二神氏学習交流会イン豊後森」を開催することになっています。

「二神系譜研究会」の発足前と後とは二神氏の系譜解明を巡る状況は大きく変化しています。最近では、3月に行われた久留島家の調査で、二神左馬助(康種)に宛てた来島通康の書状の写しが発見されるなど、伊予の中世史に新たな史料が加わってくる状況も報告されています。

これらの、いわゆる上からの調査と、会員の皆様が取り組んでいただくとところの下からの調査がきちんと結合され、歴史科学の光を当ててゆくことによって真の系譜解明、歴史解明が進むものと確信をしています。いずれにいたしましても、この一年間の取り組みには大きい成果が見られましたし、今年の取り組みによって、さらなる解明が進展するものと考えられます。会員の皆様の総意に基づく総会の成功が期待されています。

総会記念講演の講師決まる

石野弥栄氏(愛媛県歴史文化博物館学芸課長)

4月22日の総会を記念して行われる講演の演題と講師が決まりました。

講師は愛媛県歴史文化博物館学芸課長の石野弥栄氏で、同氏は日本中世史の研究が専門で、特に四国地区の守護大名や戦国大名に関する研究を行ってきました。これまでも多くの著書や論文を発表しており「守護大名河野氏と応仁の乱」「河野氏の守護支配と伊予海賊衆」などの論文もあります。二神氏に関するものとしては『愛媛県史』(古代II・中世)の中で「二神氏の出自」「海賊衆二神氏」の見出しで二神氏について触れており、すでに基礎的な研究調査を完了している同氏だけに、記念講演での講演内容が注目されるどころです。

講師 プロフィール

石野弥栄氏 (昭和19年10月1日生)

出身 愛媛県南宇和郡御荘町

学歴 國學院大學文学部史学科卒

職歴 國學院大學付属高校教諭(1975～)

角川文化振興財団勤務(1980～)

愛媛県歴史文化博物館(1994/11)

専門分野 四国中世史研究会・西南四国歴史文化研究会・伊予史談会・栃木史学会・温故学会などの会員として研究をしている。

業績 『角川日本地名大辞典』『角川日本姓氏・歴史人物大辞典』

『愛媛県史』(古代II・中世)の編集
その他中世時代の論文多数

演題は「河野氏の時代と二神氏」

当日の演題はこれまでに同氏が調査研究してきた伊予の守護大名の河野氏の時代に、その後半か

ら家臣団に加わった二神氏との関係とその任務と役割について、残された古文書などから見て行く「河